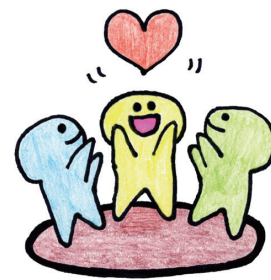


も や い

第50号

発行所 三苦校区人権尊重推進協議会

事務局 三苦公民館 TEL 092-606-4511
印刷所 社会福祉法人 福岡コロニー



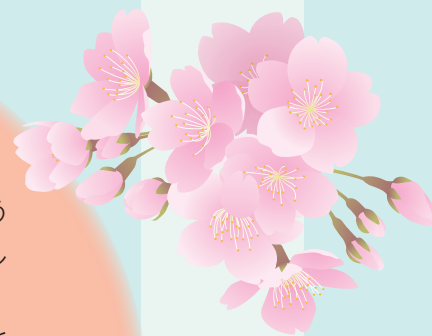
研修部

差別や偏見のない環境づくりができるように、地域の皆様の学習の場をつくる活動をしています。

年間を通し人権講座や、時には小中学校と連携して人権学習会やコンサートを開催、最近では地域にお住まいの外国の方をお招きして「多文化交流会」も行っています。



平成8年4月三苦校区誕生、令和7年度は創立30周年になります。平成11年には三苦校区人権尊重推進協議会（以下、人尊協）が発足、その下に、研修部、広報部、啓発部が組織されました。



広報部

人尊協発足の約4か月後、広報紙「三苦人尊協だより」を創刊、翌年「もやい」に改称し今日に至っています。今までは白黒印刷で、三苦校区全戸に配布してきました。

今回50号の記念号は、ユーザーファーストの観点から、カラー化し紙面構成・内容も一新しました。校区のHP（ホームページ）にも掲載、いつでも見ていただけます。

啓発部

小中学校とも連携しながら、人権意識向上のための啓発活動をしています。その一環として、平成28年度からは人権カレンダーを作成し、地域の皆様にお配りしてきました。

今後も、地域の皆様に人権について考えていただけるよう、啓発活動を進めていきます。



人権ポスター 三苦小学校4年生



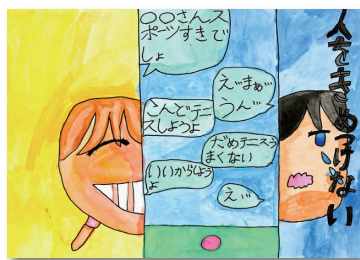
立野 滯



横田 蒼太郎



島田 悠馬



衛藤 瑞



紫垣 雄太



内藤 日向花

三 苦 の 元 気 印

第16回

今回ご登場頂くのは、
長年三苦のために尽くして来られた福永栄さんです。



5丁目
福永 栄さん

略歴

- ・平成12年 旧三苦5区(現4・5丁目)町内会会長
- ・平成14年 自治連合会会長、5丁目町内会会長
- ・平成16年 初代自治協議会会長、5丁目町内会会長
- その他、人権尊重推進協議会会長、健康づくり推進委員会会長、老人クラブ連合会会長等

◎ 少年時代の思い出を聞かせてください。

昭和8(1933)年生まれ、下関出身で、5人きょうだいの末っ子です。近所の子どもがよく集まって来ていたので、勉強を見てやったり、遊んでやったりと、面倒見はいいほうだったと思います。(現在のお姿が垣間見えます。)ただ、今の子ども達には、そういう繋がりがなくてちょっと寂しく感じます。

◎ 福岡に来られ、三苦校区で役員に携わられるようになったのは？

社会人になってからは、単身赴任が多く、三苦に落ち着いたのは50歳を過ぎてからでした。平成8(1996)年に三苦校区が誕生した時に旧三苦5区(現4・5丁目)町内会副会長をお引き受けし、それ以降町内会や校区の役員として活動してきました。その間、4・5丁目集会所の建設、町内会組織を現在の丁目単位にする改編にも携わりました。現在は、老人クラブ連合会会長の他、スクールガードとして毎日子ども達の交通指導に当たっています。

◎ いつも背筋が伸びて颯爽としておられますが…、そしてご趣味は？

特に意識はしていませんが高校まで野球をしていて、その後ゴルフをしていた結果でしょうか？(因みに高校は甲子園に行けるほどの実力だったそうです。)

趣味は、スポーツと音楽、ゴルフは最近までしていました。今は時々三苦駅の三苦側の階段を昇り降りしたり、今もできるだけ歩く様にしています。ハーモニカは、小学生の時吹いたことはありましたが、最近男女共同参画の会合でも吹くようになりました。

◎ モットーにされていることは？

「^{たいあい}大愛」、その中に愛情はもちろん、和も秩序も信頼も入るのではないのでしょうか。(今まさに、この様な信念の下で行動されていると思います。)今後とも三苦が安心して明るい町であって欲しいし、そのためにみんなが頑張っており、自分もその一翼を担いたいと思います。

最後に、「でも反省することばかりですよ」と、福永さんらしい謙虚なお言葉が印象に残りました。



スクールガード中の福永さん

今回の募集にあたって小学生から大人の方まで幅広い応募がありました。心から感謝申し上げます。厳正な審査の結果、古荘沙弥さんの作品に決定しました。

人尊協
ロゴマーク
決定!!

ロゴのコンセプト

三苦の三（さん）をイメージして、キャラクターを作りました。色々な色を持った人たちが同士で力を合わせたり、ハートを大切に作る姿を書きました。



古荘 沙弥 作

いま、三苦小学校では！

三苦小学校の取り組み

『友達の良さを知り、自分との違いを認め合う』

三苦小学校では、「自己肯定感を高める実践や他者の良さに目を向ける実践を通して、自分との違いを認め合える子どもを育てる」を目標に人権学習に取り組んでいます。

それぞれの学年に応じた課題で全校児童が学んでいます。



三苦小学校PTAの取り組み

保護者の人権学習の一環として、講演会等を行っています。今年度は、「アクティブ・ペアレンティング・ジャパン（※注）」の野中利子氏を講師に迎え、2部に分かれての講演会を開催しました。より充実した講演にするため、事前に学びたい事をPTA役員にてアンケートを実施しました。

高学年の部では、「思春期のお子様と良好な関係を作るポイント」と題し、微妙な感情のゆらぎや反抗期などに寄り添って対応していくことの大切さを具体的な事例を交えて話していただきました。

また、低学年の部では、「過保護や過干渉になっていませんか」と題し、イライラしたり、手をかけてしまいがちな子育てから離れるには、というお話をしていただきました。また、不登校で悩んでいる保護者には、「みんな違ってみんな良い」その子らしさを伸ばす声掛けの大切さを学ぶことができました。

参加者の声として、「コロナ後のコミュニケーションが減った今、相談の場がなく不安で悩んでいたが、今回の講演を聞いて楽になりました」「他者との関わりが子育てにも大切だと感じました」などがあがっていました。

講師からは、親と子どもの関係は従属ではなく子どもでも一人の人として認め、関係を築いていくことが大切だと締められました。



（※注）アメリカのアドラー心理学者マイケル・ボブキンス博士によって誕生した団体で、親としての役割や、子どもに「勇気・責任感・協力精神」を育て、子どもを自立させるための「親の関わり方」を学ぶためのプログラムを実践している

パズル問題

★たて・よこますに文字を入れ、二重わくの文字から解答してください。

- たて 1：冬が旬、凍った湖で釣っています。
2：最後はここで…〇〇の住処
3：私たちのふるさと
4：運動会では人気の種目
6：秋田の郷土料理〇〇〇〇〇なべ
8：人が生まれながらに持っている権利
11：元気になって良かったですね。〇〇〇祝
14：恥ずかしい、穴にも入りたい気持ち

- よこ 1：三苦の鎮守〇〇〇〇神社
5：福岡市の西隣の市
7：もうあきらめた。〇〇をなげる
9：道に〇〇〇ました。
10：銀でできた貨幣
12：同伴者、一緒にいる人
13：人尊協には研修部・広報部・〇〇〇〇部の3部門あります。
15：三苦の〇〇〇〇〇〇。今回は福永さんです。

1		2	3		4
A		5		6	
7	8		9		B
10		11 C		12	
	13		14		
15					

答え 今年はいづかな？

A	B	C
---	---	---

①応募方法：解答、名前、住所、連絡先を記入した紙を回収箱に入れてください。箱は、三苦公民館に用意しています。電話では受付していません。

②締め切り：4月30日（水）

③賞品：図書カード500円（3名）

正解者多数の場合は、厳正な抽選を行い、答えと当選者は「公民館だより6月号」にてお知らせいたします。

人権コンサート&映画「アオギリにたくして」鑑賞会

令和7年2月8日(土) 13:00～

◇『生きる希望を歌にのせて』

ヴォーカルユニット foo

命、どれほど大切なものでしょう。「私たちの歌や声で何か感じていただければと心を込めて歌っています。」と、コンサートを始められました。Fooの結成は、早世された子どもの親御さんとの出会いで、谷川俊太郎さんの詩「さよならは仮のことば」を歌にして欲しいとの願いから始まりました。「さよならは仮のことば」はそれからfooの大切な1曲となり、その時から「今ある命はあたりまえではない。皆さんにそれを伝えていきたい」と活動を続けていらっしゃいます。最後に「花は咲く」を聴かせていただきました。震災の復興支援の歌ですが、本当に自分の命を守る事が最優先で命を大切にしてほしいと締めくくられました。



モデルにした物語です。

作品は、ある女性ルポライターが被爆アオギリの移植活動に触れた事がきっかけで、田中さんの取材を始めました。ご本人は故人になっておられましたが妹さんへの取材ができ、田中さんの人となりや生き様を知る事ができました。たとえば被爆者間にも差別があること、特に結婚は子どもに被爆の影響がでるとの理由で反対されることも多くあり、そのため被爆者であることを隠して暮らしている方も多かったそうです。そのような中、田中さんはいくつもの困難に遭いながら、被爆で焼け焦げたアオギリが芽吹いている姿を目にし、枯れ木同然になりながらも生きようとするアオギリに心を打たれ、生きる希望を取り戻し、語り部として活動を始められました。

作中「生きているだけで100点満点」という言葉があり、命は当たり前にあるものではなく、生きている今をしっかりと大切にしていきたいものです。

◇映画「アオギリにたくして」

この映画は、広島市への原子爆弾投下により左脚を失い壮絶な人生を歩みながらも、焼け跡に芽吹いたアオギリの生命力に励まされて語り部として生き抜いた平和運動家、沼田鈴子さん(劇中名は田中さん)を



【ひとことプラス】もやいとは？

- ・【舐い、催い、最い】もやうこと。また、そのための綱。むやい。もや。「-をつなぐ」「-を解(と)く」
- ・共同で(所有)すること。(出典：三省堂新小辞林)
- ・この広報紙「もやい」は、人権をもっと身近に感じ、より良いものにしていく目的で、創刊号で名称を募集し多数の応募内から決定されました。

三苦校区でのいろんな行事や事業を行う時に、助け合い励まし合う温かい心が通い合う「もやい」の精神を持続けるようにしていきたいものです。

あとかき

人尊協は発足して26年、その広報紙「もやい」が50号を迎えました。それを記念して、これまでの白黒印刷をカラー化し、レイアウトもA3版2面縦書きから、A4版4面横書きにいたしました。

さらに、全戸配布を回覧板とすると同時に、三苦校区のHP(ホームページ)に掲載いつでも見ていただける様にします。なお、HPは毎月の「公民館だより」のほか、校区内の各種行事の報告、予定が掲載されています。これを機会に、校区のHPを見る機会が増えればと期待します。

いかがでしょうか？

皆様のご意見をお寄せください。皆様のご意見を参考にしながら、より良い「もやい」にしていきたいと思ひます。